



代表の土山ご夫婦

経営概要

- ◆代表者、所在地
代表取締役 土山善史、和歌山県海南市
- ◆設立年
令和5年8月
- ◆経営規模
果樹類（ミカン、不知火、キウイフルーツ） 5.0ha
- ◆従業員数
正社員2名、パート・アルバイト6名
- ◆事業内容
農産物（果樹類）の生産・販売等に取り組む。

1 現状及び相談内容

専業農家の後継者として平成6年に就農した現代表は、**地域の農業の担い手**として、精力的に農業経営に取り組んできた。

近年、生産・収穫量が安定してきたため、**経営の安定化や事業の多角化、若手・後継者の育成**等を鑑みて、法人化を検討するために、専門家から指導・助言を受けたいとの相談があった。

2 支援内容

わかやま県農業経営・就農サポートセンターの専属スタッフによる**経営診断**の後、税理士から**法人化のメリット・デメリット**や**法人の設立時期**等について、助言を行った。

また、社会保険労務士から**雇用環境の整備**や**就業規則の策定**等について、助言を行った。

3 人材の確保・育成に資する取組

★地域の課題として後継者不足の問題を捉え、OJTやマニュアル作成、就農後のサポート等の新規就農者を雇用・育成する取組を実施

■OJTによる人材育成

パート・アルバイトを含めた新たな従業員への指導は、早期の人材育成や各種事故防止等の観点から、現代表または経験豊富な従業員が**マンツーマン指導**を行っている。

将来的に独立を考えている従業員には、**農業用機械の使い方等の指導**を積極的に行うとともに、免許取得希望者には、教習所に通う時間等の確保を行っている。

また、作業の効率化や指導方法の統一、農作業事故防止等を目的に、**作業マニュアルの作成**や**社内研修会の開催**を実施している。

■新規就農者への支援

独立自営就農を考える従業員には、地域内にある**農地の情報を紹介**するとともに、**経営の安定に向けて収穫や出荷における支援・助言等**を行うこととしている。



所有する園地での剪定の様子

今後の意気込み

法人化をきっかけに、自社の経営はもちろん地域の将来等を改めて考えるようになりました。まだまだ課題は多いが、先進的な事例を学び、学んだことに取り組んでいきたい。

専属スタッフ所感

人材育成の取組の中で、研修体制だけでなく、独立後の支援を考えられている経営体です。地域内、広くは県内におけるモデル的法人としての経営確立が期待されます。